



「いちごの会」という名称は「一期一会」と、苺の花言葉「尊敬・愛情・幸福」からつけられた

ソフィアメディ株式会社は、東京都の城南4区（目黒区・世田谷区・品川区・大田区）を中心に、訪問看護ステーション30事業所を運営。加えて、デイサービスや居宅介護支援事業所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所、さらに2軒の診療所と事業を広げており、現在、約7200人の顧客を抱える。

「本社がある目黒区は、介護施設系の資源が少ないので、病院から在宅へ戻るために必要とされる医療・看護・介護サービスを自社でワンストップで提供しようと、訪

問看護を中心に事業を拡大してきました」と、同社訪問看護統括部の宮田哲也次長は説明する。

「訪問看護は人と人の付き合いだ」と話すのは、営業・開発部の川崎康裕さん。営業担当者として、地域内のケアマネジャーを必ず月1回は訪問する。そのなかでケアマネから相談されることも多く、自社で確実に対応を図るほか、必要に応じて他施設・他事業所を紹介するなど、地域全体での介護の充実に努めている。

さらに同社では、2017年1月に社外の訪問看護師や管理職、経営者、団体などに向け、教育・研修事業に特化した団体、一般社団法人訪問看護エデュケーション

地域の在宅医療を支える 訪問看護事業を展開



ソフィアメディ株式会社（東京都目黒区）

訪問看護で培った専門性を活かして 地域住民の介護予防に貢献

訪問看護を中心に在宅医療・介護サービスを提供するソフィアメディ株式会社。地域住民向けの健康相談会やパソコン教室、作品展などを開催し、地域での認知度を高めるとともに、地域住民の介護予防につなげている。

地域DATA

東京都目黒区

面積：14.67km² 人口総数：27万6,623人
男：13万850人 女：14万5,773人
高齢化率：19.83%（2017年11月現在）



ソフィアメディ株式会社

〒152-0004
東京都目黒区鷹番1-9-21
TEL：03-5768-2853
URL：http://www.sophiamedi.co.jp/



本社近隣に場所を借りてパソコン教室を運営



看護師とリハビリセラピストが連携し、利用者の要望に応じてサービスを提供する



写真左から、同社営業・開発部の川崎康裕さん、教育・研修事業部部長の上原良夫さん、訪看護括部次長の宮田哲也さん



「お客様作品展」では展示のほか、作者へ賞状が渡される



一般社団法人訪問看護エデュケーションバーラーでの研修風景

体操教室から作品展まで 各種イベントを開催

バーラーを立ち上げた。訪問看護技術の研修を行うとともに、在宅医療や運営側の視点を学べるよう、マネジメントについても教える。

同社では、看護師などの専門性を活かし、住民に向けた地域貢献事業を積極的に開催している。区の介護予防教室を卒業した住民には、継続して運動できる場所がなく、その受け皿になればと始めたのが、健康相談会や体操教室、パソコン教室などだ。

「訪問看護というところ、お客様以外にはあまりその内容が知られていません。当社を知って、訪問看護について理解を深めてもらうことで、必要になったときに相談をしてみようようになればいいと思います」と、同社教育・研修事業部の上原良夫部長はねらいを語る。

さらに、利用者が自宅で作った手芸品や書道作品などを展示する「お客様作品展」も年1回開催。これは、地域の人に作品を見ても

らう機会になるとともに、利用者自身の外出機会の創出にもなっている。次年の作品展への出展をリハビリの目標としてケアプランに組み込んでいる利用者もおり、出展という形で利用者のリハビリの結果が見えることが、職員のモチベーションにもつながっているという。

こうした取り組みは当初、同社営業・開発部が中心となって企画していたが、それを積み重ねていくなかで、看護師などの現場職員の要望から新たな取り組みも始まっている。たとえば、訪問看護の利用者とその家族、同社サービスの場である「いちこの会」もその一つで、第2回には約70人が参加し、音楽イベントなどを実施した。介護の大変さや、遺族の方の思いなどを話し、共有できる場所として参加者の心の支えになっている。「地域に密着した活動でお客様の生きがいづくりに貢献し、地域の在宅医療を支えるとともに、新しい付加価値を創造していきたい」と、上原部長は意欲を見せる。